

「JAの自己改革に関する組合員調査」 集計結果のご案内

JAグループサポーター
林 修先生

回答者数

約 **390** 万人

自己改革への評価

期待度 約7~8割が「期待している」

満足度 約6割が「満足」

改善度 約8割が「改善した」「もともと良い」

総合事業の
継続

約9割が「総合事業を継続すべき」

准組合員の事業
の利用の制限

約9割が「制限しない方がよい」

林先生コメント

● 民間実施の調査では最大規模となった今回の調査では、3,902,603人という、非常に多くの組合員の声寄せられました。回答していただいた調査票を積み上げると、約10,000mにも及びます。

● JAの自己改革について、農業関連事業が「改善した」「もともと良い」との声は約8割。また、約9割の組合員から、「総合事業を継続すべき」との声もいただいています。

● JAは協同組合。これからも、組合員との対話を大事に、組合員の声に基づいて地域に必要なサービスを提供し、利用してもらうことで、農業と地域を支えていってほしいですね。

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、平成30年12月から昨年12月まで、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しました。

本調査では、全国で3,902,603人の組合員からご回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

このたび、皆さまからいただいた調査結果を、最終結果としてご報告いたします。

調査期間

平成30年12月～
令和元年12月

調査対象者

全国の
正・准組合員



組合員の皆さまと
可能な限り
直接お会いして
調査にご協力
いただきました。



1年で3回にものぼる全戸訪問活動の取り組み(JAぎふ)



准組合員を含めて直接会うことを徹底した全組合員訪問活動(JAなんすん)

